

三重県は、中京圏や関西圏に近い北中部地域と都市圏から離れた南部・東紀州地域とでは人口や産業の構造が大きく異なっており、各地域が抱える課題は、まさに日本全体が抱える課題でもあります。

三重大学は、この日本の縮図とも言える三重県全域を教育・研究フィールドとし、ここを拠点に世界に伍し、地域に根ざした幅広い教育・研究を展開します。展開にあたっては、三重大学の特徴である地域拠点サテライトを活用し、みえの未来図共創機構にある地域共創展開センターの3部門を軸に、URA等を充実し、地域との協働により連携・共創を進めることでスパイラルアップを図り、地域協働によって課題解決を目指す「三重モデル」を加速させることで、成果を社会に還元し地域創生に貢献します。

三重大学の社会貢献において、地域をさらに発展させる上で「多様な基礎研究の成果に立脚した先端技術の社会実装とそれを活用した新たな社会価値の創出」は重要な課題と考えています。「産業の未来図」部門では、今まで三重大学で行ってきた種々の先端的な研究に加え、情報化基盤整備における次世代通信分野に対するDXを含めた地域社会が求める研究開発や、世界が脱炭素社会に向けて進む中、カーボンニュートラルを含む新たなエネ

ルギー循環を考えた循環型社会モデルの形成・構築のための研究開発などに対し、社会実装を進めます。社会実装にあたっては、産学官民の連携をさらに進め、地域社会とともに理解を深めることで大学の意識改革を図ります。

「日本の地域モデルの未来図」部門では、少子高齢化とグローバル化、地球温暖化の進展など、地域社会をとりまく環境が大きく変化する中で、各地域が直面する課題やニーズを収集、把握し、三重県が持つ農林水産資源や特色ある文化などの魅力・潜在力をさらに掘り起こし、学生の地域参画、教育課程の解決などを含め、産学官民が協働して医・食・住のさまざまな課題解決に取り組むことで、人々がわくわくする社会の実現を目指します。

人々が社会経済活動を行う上で不可欠な課題として「安心・安全・快適な社会の形成」があげられます。三重大学は、三重県とともに地域の防災・減災に取り組んでいましたが、この活動をさらに発展させ、「持続可能社会モデルの未来図」部門において、医学・医療DX、感染症対応、災害時の医療・看護、若者の防災意識向上、国土強靱化に向けたインフラ長寿命化対策などに対する取り組みを進め、持続可能な社会の実現を目指します。

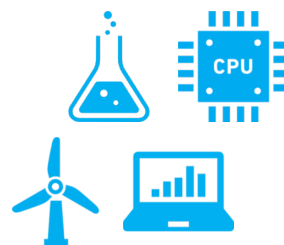
地域との共創、協働による「三重モデル」を三重から全国へ、世界へ

みえの未来図共創機構

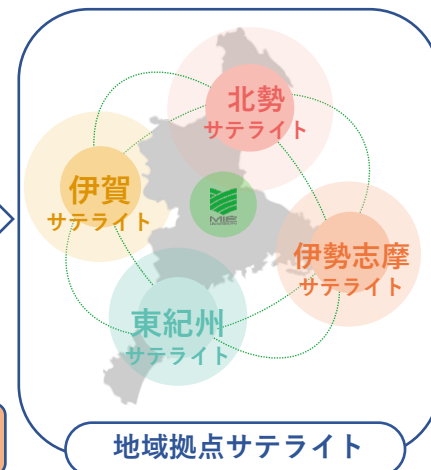
### 産業の未来図

先端技術の社会実装とそれを活用した新たな社会価値の創出に取り組みます

- ・ 先端的研究の社会実装に向けた産学連携
- ・ 次世代通信・デジタル技術の活用
- ・ 新産業転換への取り組み
- ・ 循環型社会の形成・創出



地域創生・社会実装



地域共創展開センター  
におけるプロジェクトの推進

### 日本の地域モデルの未来図

地域の豊かな資源と特色ある文化を生かした地域課題解決・地域文化発展に取り組みます

- ・ 地域文化研究の発信
- ・ 農林水産業の諸問題の解決
- ・ 学生の参画による地域活性化
- ・ 教育課程の解決
- ・ 医・食・住の課題解決



### 持続可能社会モデルの未来図

暮らしやすい社会を目指した安心・安全・快適社会の形成に取り組みます

- ・ 医学・医療DXへの取り組み
- ・ 災害時の医療・看護
- ・ 防災意識の向上と人材の育成
- ・ 国土強靱化に資する教育研究